

ねん いちど すいせい 10年に一度、彗星のごとくやってくるのが近畿高等学校総合文化祭。近畿の個性あふれる文化を満喫しました。

届け！星空へ 輝く文化を繋いだ流星

近畿は一つ！

「近畿は一つ」の合言葉のもとに近畿地方を中心とする2府8県の高等学校等の生徒が集い芸術文化活動の総合的な発表会が開催されました。近畿には昔から芸事やお笑いの文化があります。そのため、芸事を極めるとか、技能を高めるだけではなく、そこにおもてなしや人を和やかにさせる遊び心があると感じます。

発表や作品を見るだけでも感じる場所がありますが、発表する側やスタッフとして支える側の体験はさらに多くことを感じ、学びがあったと思います。特に各学校から生徒実行委員会に参加した生徒のみなさんは、企画、準備、運営と活躍し、鳥取の魅力を彩った大会に創りあげてくれました。米工からはK3原口さんが生徒実行委員会として活躍し、事前のラジオ放送でのPRも担当しました。

秋は空が澄み渡り、一段と夜空もきれいに見えます。近畿高等学校総合文化祭という彗星が次にやってくるのは令和17年。主役は今の小学校低学年。どんな星がやってくるのか楽しみにしましょう。

こうちょう まつかわ あきよし
校長 松川 明義

せいと じっこう いん
生徒実行委員

けんせつ か ねん はらぐち こ はく
建設科3年 原口 琥珀

このたび、近畿総文祭の実行委員として参加しました。

私はデザイン関係のことと、総合開会式では受付と鳥取県副知事の接遇を担当しました。最初は緊張しましたが、任されたからにはしっかりやろうと思い、できるだけ丁寧に対応することを心がけました。

受付では、来場された方が迷わないように案内したり、声をかけたりすることに気をつけました。副知事の接遇では、事前の流れを確認しながら落ち着いて動くことが大事だと感じました。

また、実行委員の活動を通して、普段あまり関わることのない鳥取県の東部や中部の高校生と一緒に作業できたのも、とても良い経験でした。地域が違ふと雰囲気や考え方も少し違って、新鮮で楽しかったです。

普段とは違う場で、言葉遣いや立ち振る舞いなど気をつけることが多く大変でしたが、その分たくさんの方の経験をこれからの生活に活かし、積極的に挑戦し続けたいと思います。

みなさんもいろんなことに挑戦して、限りある高校生活を精いっぱい楽しみましょう！

ぎよう じ よてい
【行事予定】

26日(水)～12月2日(火)：期末考査

30日(日)：マイコンカーラリー 中国地区大会

